

5 - 2 東海地方の微小地震の分布 (2000年5月1日~10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May,1-October 31,2000)

名古屋大学大学院理学研究科

Graduate School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて2000年5月01日より2000年10月31日までの6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

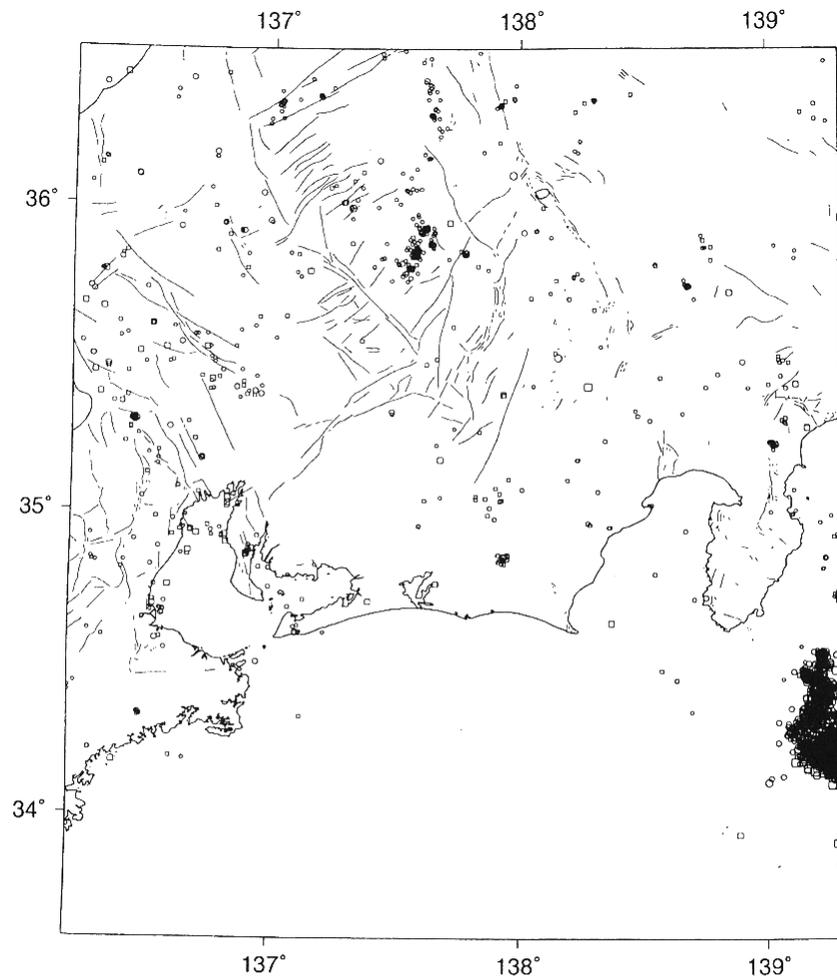
第1図は、2000年5月1日より2000年10月31日までの6カ月間に、名古屋大学大学院理学研究科、および東京大学、京都大学、気象庁の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を、3カ月づつの期間に分けて示したものである。第2図は、同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 上部地殻内に発生する地震については、6月26日より三宅島から新島・神津島近海で火山活動を伴うきわめて活発な地震活動があった。8月11日頃よりやや静かになったが、活動は継続中である。
- (2) 愛知県から静岡県西部にかけての地域でM3以上の地震が9回など活動的であった。
- (3) 長野県西部地域では、ほぼ定常的であったが活動の中心は北東部に移っている。
- (4) 三重県中部では、群発地震活動の活動は小規模になりつつあるものの継続している。
- (5) フィリピン海プレート内の地震活動は概ね定常的であったが、7月20日に愛知県北部でM4.0の地震があった。10月31日に三重県中部でM5.6の地震とその余震活動があった。

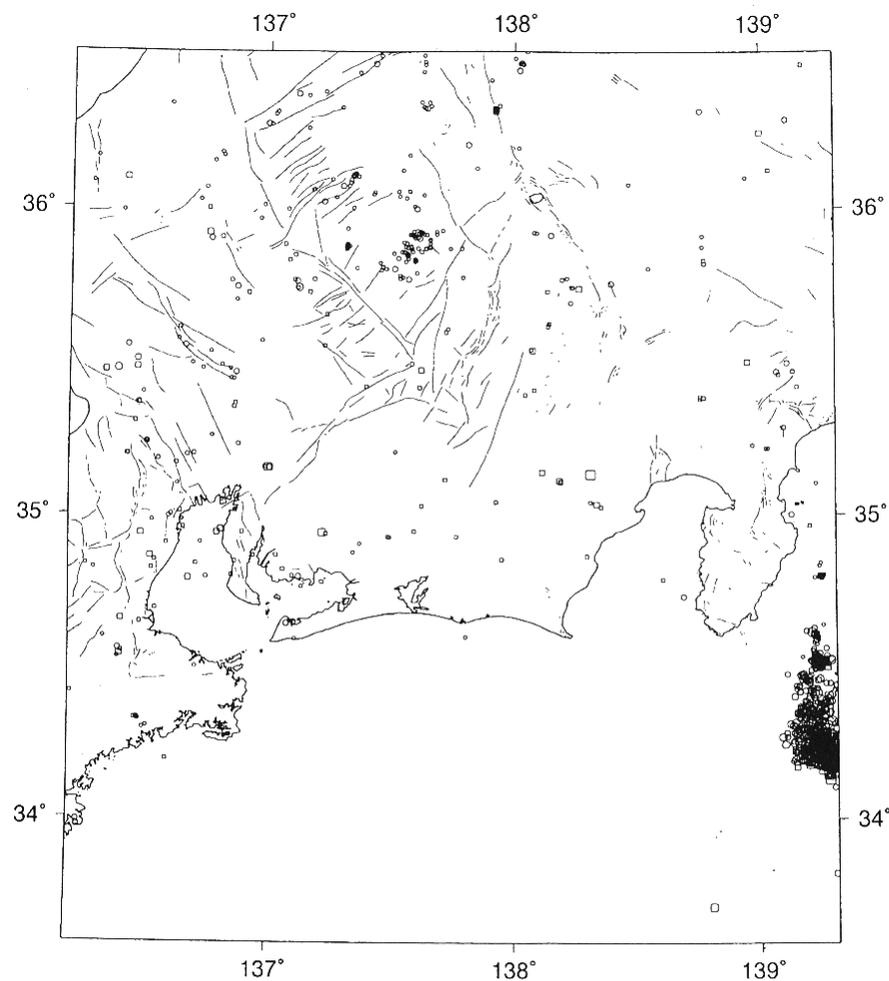
参 考 文 献

- 1) 名古屋大学大学院理学研究科：東海地方の微小地震の分布 (1999年11月1日~2000年4月30日)、連絡会報、64、(2000)、226-228



N= 4111
 DEPTH 0 10 20 MAG. 1 2 3 4 5 6 7
 ○ □ · · · · · ○ ○

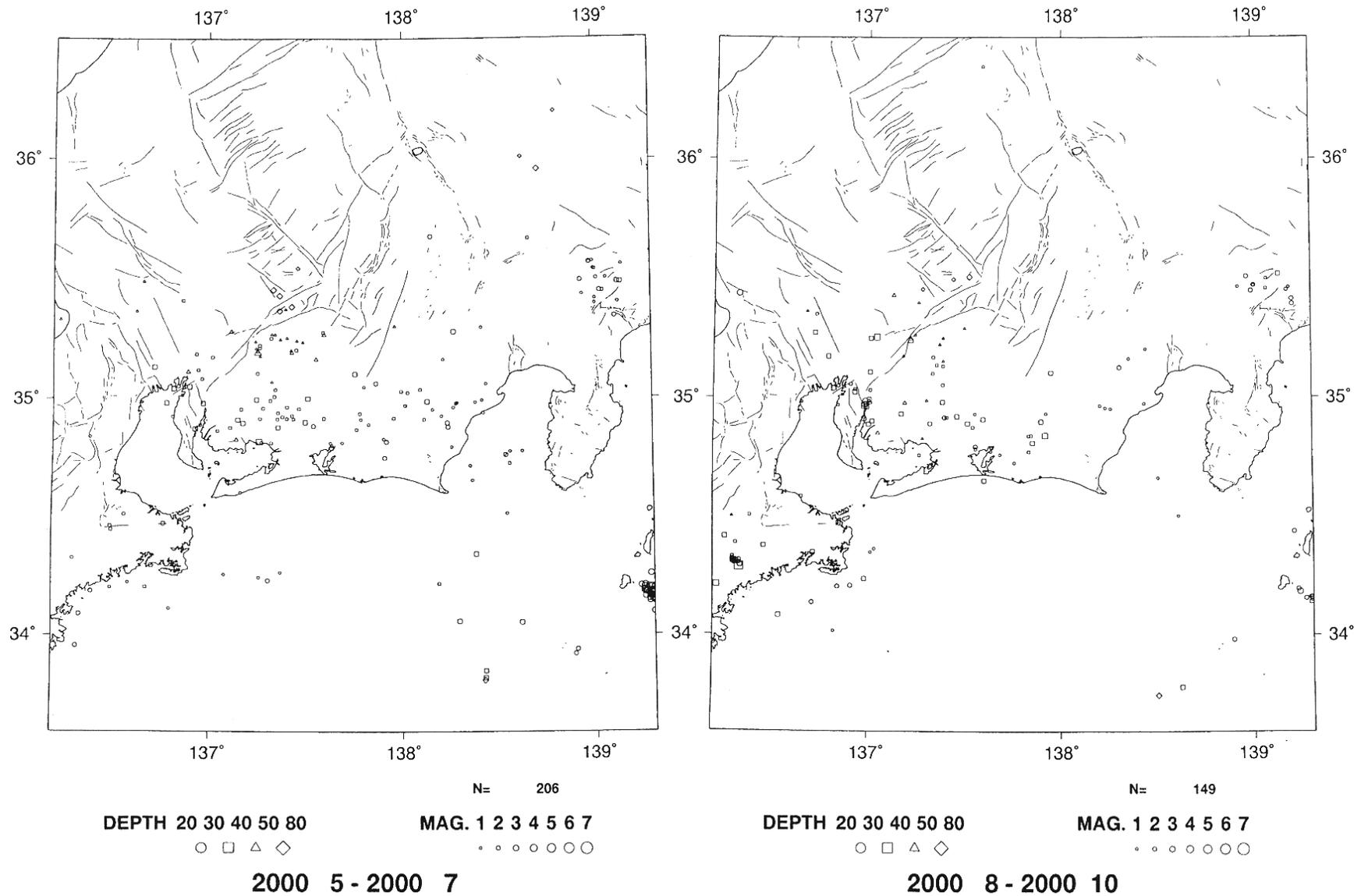
2000 5 - 2000 7



N= 1500
 DEPTH 0 10 20 MAG. 1 2 3 4 5 6 7
 ○ □ · · · · · ○ ○

2000 8 - 2000 10

第 1 図 微小地震の分布 (2000年5月1日 ~ 2000年10月31日) 震源の深さが20km未満のもの
 Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes(May 1,2000 - Oct.31,2000)shallower than 20km.



第2図 微小地震の分布(2000年5月1日~2000年10月31日)震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes(May 1,2000 - Oct.31,2000)deeper than and equal to 20km.